

業務部速報



No. 81

発行 25. 11. 20

JR東労組 業務部

エネルギー
企画部門

JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた 新たな組織と働き方について

提案を11月19日に受ける！その2

労働条件・労働環境の変化

- 発電所・技術センターの場所は変わらない。本社と現場が分かれて別々働いていたところに融合を図り、ワンストップ化を目指す。
- 勤務はフレックスタイム制となる。
- 派遣社員は属人も含めて、検討する。
- ユニット間の「融合と連携」は行っていく。異動ではなく勤務変更となる。指令の兼務発令もなくなる。
- 出勤数に変更はない

安全・技術継承

- 安全確保と技術継承の教育訓練は引き続き行う。
(安全)
- 発電所・技術センターにおいてCSや訓練は今後も行っていく。
- 企画ユニットの安全担当は全体での事故防止対策で俯瞰的にみる業務を担う。
- 安全レベルは維持していく。在来電力との障害発生時の連携は引き続き行っていく。
(技術継承)
- 各箇所教育訓練している。
- これまで同様に全体の研修や訓練も行っていく。

便宜供与等の変更とスケジュール

- 組織再編で疑義があれば申し入れを頂戴して議論する。窓口として変更はない。
- 実施は7月1日を目指す。

【提案時の確認事項】

- ①本部・本社間の議論で積み残している課題がある中での異例の提案であること
- ②関係行政機関の判断が出ていないなかで、信濃川発電所と川崎発電所が同じ業務機関となれば場所的な観念もある。コンプライアンス・労働関係法令順守を踏まえて議論していくこと
- ③本部・本社間、地方議論を含めそれぞれで合意形成をめざしていくのが基本であり、行政の判断が出た場合、当該の議論で解決しがたいものは、本部本社で議論していくこと
- ④スケジュール感の認識を合わせ、労使合意めざして真摯かつ建設的な議論していくこと